


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

<b>事業名</b> 一般国道10号 <small>のべあか</small> 延岡道路	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 九州地方整備局
<b>起終点</b> 自：宮崎県 <small>ひがしうすき</small> 東臼杵郡 <small>きたがわ</small> 北川町大字長井 至：宮崎県 <small>のべあか</small> 延岡市 <small>いがた</small> 伊形町	<b>延長</b>	20.6 km
<b>事業概要</b> 延岡道路は、国道10号の交通混雑を解消するため、バイパスの機能を持つ規格の高い自動車専用道路として計画され、既に供用されている延岡南道路と接続し、宮崎県北地域の骨格を成す道路となり、産業や経済の発展、文化交流等地域開発の促進、地域の活性化、また将来的には東九州自動車道と一体となって、高速交通ネットワークを形成する重要な高規格幹線道路である。		
H6年度事業化	H6年度都市計画決定 (H12年度変更)	H8年度用地着手 H10年度工事着手
<b>全体事業費</b>	約1,187億円	<b>事業進捗率</b> 27%
<b>計画交通量</b>	14,400~33,900台/日	<b>供用済延長</b> 0.0 km
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.9 (残事業) 3.2	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 629/1,040 億円 〔事業費：550/962億円〕 〔維持管理費：79/79 億円〕
	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 2,015/2,015 億円 〔走行時間短縮便益：1808/1808億円〕 〔走行費用減少便益：111/111 億円〕 〔交通事故減少便益：96/96 億円〕	<b>基準年</b> 平成15年
<b>事業の効果等</b> ・安全で安心できるくらしの確保（県立延岡病院（三次医療施設）へのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（重要港湾細島港へのアクセス向上が見込まれる） 他6項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 延岡道路は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、延岡市をはじめとする関係市町の首長等で構成される各種期成会から、毎年早期整備の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 交通量の年々増加に伴い、市街部において依然交通渋滞を引き起こしている。（交通センサ H11/H6=1.2）		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 延岡JCT～延岡南IC間（L=7.8km）暫定供用までの現在の進捗率は72%であり、平成17年度供用を目指し鋭意事業を推進している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 延岡JCT～延岡南IC間（L=7.8km）は平成17年度の供用を目指し鋭意事業を推進しており、北川IC～延岡JCT間（L=12.8km）についても引き続き早期の暫定供用に向け事業を推進する。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 設計の総点検による見直し（JCT形状、縦断計画）、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策等により、コスト縮減を図っている。		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。